

6月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和7年6月末現在〕

令和7年7月15日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」、「売上高」、「収益状況」のいずれも前年同月比は悪化し、前月比でも同様に「景況」「売上高」「収益状況」は悪化した。

業種別でみると、「景況」の前年同月比は製造業、非製造業ともに悪化し、前月比は製造業は悪化した。非製造業は変化がなかった。「売上高」の前年同月比は製造業は悪化した。非製造業は変化がなかった。前月比は製造業は悪化した。非製造業は改善した。「収益状況」の前年同月比は製造業、非製造業ともに悪化し、前月比も同様に製造業、非製造業ともに悪化した。

米国の関税措置により今後どのような影響がでるか先行きが不安である等の意見がみられた。

景況DI

全体では、前月比 8.2ポイント悪化の▲28.6ポイント、製造業は、前月比 16.0ポイント悪化の▲32.0ポイント、非製造業は、前月比 変化なしの▲25.0ポイントとなった。

売上高DI

全体では、前月比 6.1ポイント悪化の▲10.2ポイント、製造業は、前月比 20.0ポイント悪化の▲20.0ポイント、非製造業は、前月比 8.3ポイント改善の0.0ポイントとなった。

収益状況DI

全体では、前月比 12.3ポイント悪化の▲32.7ポイント、製造業は、前月比 20.0ポイント悪化の▲40.0ポイント、非製造業は、前月比 4.2ポイント悪化の▲25.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	学校給食パン	6月に組合員経営のパン製造工業が営業を停止したことにより、他社がその分のカバーをしなればならず、負担が大きくなっている。学校給食パン製造から撤退する組合員が相次いでいることもあり、カバーしきれなくなってきた。製造機器を修繕・増強するほどの余裕もないため、老朽化した機器で業務を続けている状況となっている。
	清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県における5月の清酒課税移出数量は、対前年同月比93.4%となった。本格焼酎については対前年91.0%となった。清酒については、4ヶ月連続で対前年同月を上回り、下げ止まったと感じていたが、不振となった。 物価高により個人消費も不安定であると考えられる。 ○県内当業界について 令和7年産の玄米量の価格について加工用米の価格が決定し、60kg玄米で23,800円であり、12,400円(対前年比)の引き上げとなった。加工用米で10,000円以上の値上げから今後提示される酒米についても10,000円以上の値上げが予想されるが、主食米の値上げに酒米の値上げが追いつかないため、生産農家の酒米離れがさらに進んでいくと予想される。 現在のこしひかり業者間取引価格は35,000円。 酒造としては製造原価の3割以上を占める原料米の値上げ分をどう吸収していくのが課題となっている。
	納豆	・人手不足により工場稼働率が低下している ・原材料、人件費上昇分のコストを十分に価格転嫁できていないため、利益が圧迫されている
	菓子	例年以上の暑さによりアイスなどの冷菓が好まれているため、和菓子などの菓子屋は苦戦している。
	漬物	猛暑により原材料の生育に影響が出て、漬物の原材料が不足し、仕入価格等の高騰が懸念される。直近では、漬物の売上が伸び悩んでいる状況となっている。
	食肉	人手不足感がある。
	繊維工業	外衣シャツ
木材・木材製品	製材	・国産材製品の荷動きは前月からやや落ち込んできており、価格については横ばいで推移した。 ・外材については入荷量は横ばい、価格については高値安定で推移した。 ・原木については、スギ・ヒノキともに横ばいで推移した。
	県北地区プレカット	月間加工坪数目標(1,000坪)は70%達成であった。 7月加工予定は、初旬～中旬はまだ空きがある状態で17棟ほどを予定している。 木材費は、高値安定を維持している。
紙・紙加工品	段ボール	6月の生産量は大手企業は増えているのに対し、中小企業は前年割れをしているところがほとんどであり、格差が拡大している状況となっている。 6月後半には大手メーカーが10月からの値上げを発表し、その他各社原材料メーカーも値上げを発表しており、収益確保が厳しい中小企業は今後の経営について頭を悩ませている。 業界内では、M&Aが盛んに話題になるようになってきている。
印刷	総合印刷	印刷業全体として、ペーパーレス化の促進により、依然として縮小傾向が続いている。レストランや居酒屋等での注文がQR仕様になって来ていることも影響している。 今後、印刷につながる仕事の模索をしていかないと厳しいと思われる。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	窯業・土石製品	陶磁器 5月の大型陶器市が終わり、秋の陶器市に向けて組合員は生産に集中している。 6～8月は販売よりも生産がメインになると思われる。
	鉄鋼・金属	鉄鋼 6月の売上は前年度と同様。機械部品・建築金物などの受注量も同様に前年度と同程度となった。 自動車部品も同様の結果となったが、アメリカの関税見直しで、今後どの程度影響があるのか注視している。 燃料費・電気代・材料費等購入品は高値で推移している。 景況は、多少持ち直しているが、予断を許さない状況が続いている。
	一般機器	生産用機械 ・対象7組合員（製造会社）の売上状況は、増加（前年同月比）は3社、減少（前年同月比）は4社となった。全体増減率は111%となった。 主要取引先からの受注が増加したことにより、売上高は2ヶ月連続して前年同月を上回ったが、受注率が減少している取引先が4社あるため好転しているとは言い難い状況。 団地全他の従業員数は派遣社員数が減少していることから前年同月比では減少しているが、前月からは7名増加となっている。
	電気機器	重電 ・3月に大手企業の工場が閉鎖したことにより、街全体として死活問題となっている。
	輸送用機器	県北地区自動車部品 業界の先行きの不安が大きい。 世界全体の動向や今後のトランプ関税の影響が心配。
非製造業	卸売業	生鮮魚介 精算所の取扱高が前年同月比1.79%増加した。 取扱高は前年とほぼ同じであるが、取扱数量は減少傾向となっている。 量販店をはじめ、個人商店、外食産業等を含めすべてで水産商品の取り扱いが減少している。 米不足の影響で食事内容が変わってきているように感じる。
		袋セメント 袋セメントの6月度出荷数量は24千袋、前年同月比86.3%の実績となった。 6月は猛暑日が多く、工事稼働時間が減少したこと等を要因として前年同月比大幅の低下となった。
		鹿行地区共同店舗 売上高は97.25%（前年同月比）と微減であった。 来客数は99.09%（前年同月比）とほぼ横ばいであった。
	県南地区共同店舗 ショッピングセンター全体として6月の売上高（前年同月比）は102.32%の実績であった。	
	燃料 燃料油価格の上昇を迎える国の支援策（燃料価格定額引下げ措置）が5月22日からスタートし、最大10円（ガソリン・軽油は10円。灯油、重油は5円まで）の定額補助を行い、さらに中東情勢の緊迫化に伴い、原油価格が高騰することに備えた「予防的な激変緩和措置」を決定し、全国平均小売価格を175円大きく超えないよう6月26日から補助をスタートさせた結果、6月30日の全国平均の小売価格は174.2円になりました。 小売価格は国の補助事業にて大幅な上昇とはならないまでも、依然として175円が全国平均となる高値で推移しており、消費者の負担は大きく、人件費の上昇及び物価上昇分の費用を価格に転嫁することが難しく、利益確保は困難なため、経営状況は厳しい状況にある。	

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
造 業	小売業	スポーツ用品	各メーカー等による通常スポーツ用品や小中高校の体育用指定ウェア、シューズなどの値上げや卸価格の上昇を要因として利幅の確保が難しい状況となっている。また、買取条件や最低仕入セットの設定などの制約をメーカー等が要求してきている。
		中古自動車	6月期の販売価格は116.1% (前年同月比)、販売台数は133.8% (前年同月比) と大きく上昇したことにより、売上高は155.4% (前年同月比) と対前年で5割を超える良好な実績となった。ただし、前年6月は新車の供給不足で全国的に商品不足に陥っていたことにより、小売環境にも大きな影響があったことから、今回大きく実績を伸ばした要因としては反動増の背景がある。また、大型店は順調に売上を伸ばしているが、小規模店で実績が低迷している会員店が少なくない。
		野菜・果実	6月の野菜果実の取扱高 (対前年度比) は97.8%となった。過去5年間の平均と比較しても94.9%となった。上旬は昨年同様出荷が安定し、単価安となる品目も多かったため、売上は減少したが、中旬以降に売上が増加した。晴天が続いたため、葉物野菜の単価が上がったことが要因の一つと考えられる。
	商店街	水戸	特に変化なし
		筑西	仕入原材料費の高騰が止まらず苦慮している
非 製	サービス業	自動車整備	前年同月に大幅 (約10%) に落ち込んだ車検台数が戻りつつあるものの、原油並びに光熱費等の高騰が響いており、依然として収益面は悪化している。
		旅館、ホテル	全体的に人手不足が見受けられるとともに人材確保が難しい状況となっている。全体的に前月までに比べインバウンドが20%から33%減少している。日立地区ではインバウンドが全く来ていない状況であり、宿泊単価が上昇したが、客数が減少しているとともに人手不足が深刻化している。つくば地区では外国人ビジネスで需要は増えているが、観光需要は減少している。北茨城地区では昨年に比べても宿泊客の減少がみられる。OTAでのクーポン施策などを行っているが、集客にはつながっていない。
		ビル管理	売上高は増加しているが、引き続き労務費・資機材消耗品費等の上昇により利益の増加には至っていない。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
造業	建設業	総合	公共事業 (県・市) の予算減少により発注予定件数、金額が減少しており業績の見通しが非常に厳しい状況となっている。
		県央地区管工事	・上下水道管の破損による、漏水やそれに起因するような道路陥没等が多く見られる。
	運輸業	軽貨物自動車	6月の組合員数は97名で1名増加、車両台数は126台で増減なしとなった。 また運送売上高は前年同月比108.6%増加となった。 全国赤帽自動車運送協同組合連合会の6月の組合員数は5,854名で10名減 (前月比)、車両台数は7,006台で18台減 (前月比) となっている。
		一般貨物自動車	主要顧客の発送物量は回復せず、減少したまま推移している。 輸送運賃については、昨年と比べ値上げしていただいたが、十分な運賃水準とはいえず、人件費上昇や経費の上昇などにより、依然として収益は厳しい状況にある。 燃料価格については、一時的に少し下がったが、再度値上がりしており厳しい状況となっている。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	学校給食業者 (主食) の立ち位置の確認
	清酒	昨年からの急激な米価格の高騰により加工業者は苦境に陥っている。行政には米価の歴史的な高騰により経営が圧迫されている酒造への原料米購入資金の補助金の検討をお願いしたい。
窯業・土石製品	コンクリート製品	公共工事費 (土木) の拡充
電気機器	重電	今年は昨年よりも売上が下がっているため予定納税の支払い (資金繰り) に苦労している
小売業	燃料	・揮発油に課税している二重課税の廃止 ・燃料油補助に対する消費者に対する十分な説明、補助事業の今後の見通しの事業者向けの説明 ・物価上昇、円安への対策
サービス業	旅館・ホテル	ホテル旅館枠で改修費用についてのサポートをいただきたい 自治体職員や他地域同業の方による視察などをしていただき、自社では気づいていない既存施設や地域の「価値・魅力」を掘り起こす機会を設けていただきたい
建設業	総合	公共工事予算の確保

月次景況調査 6月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	6月	5月	前月比	6月	5月	前月比	6月	5月	前月比
景 況	▲ 28.6	▲ 20.4	▲ 8.2	▲ 32.0	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0
売 上 高	▲ 10.2	▲ 4.1	▲ 6.1	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 8.3	8.3
収 益 状 況	▲ 32.7	▲ 20.4	▲ 12.3	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 4.2
販 売 価 格	18.4	22.4	▲ 4.0	12.0	16.0	▲ 4.0	25.0	29.2	▲ 4.2
取 引 条 件	▲ 12.2	▲ 6.1	▲ 6.1	▲ 20.0	▲ 4.0	▲ 16.0	▲ 4.2	▲ 8.3	4.1

中小企業月次景況調査(令和7年6月)DI値(前年同月比)

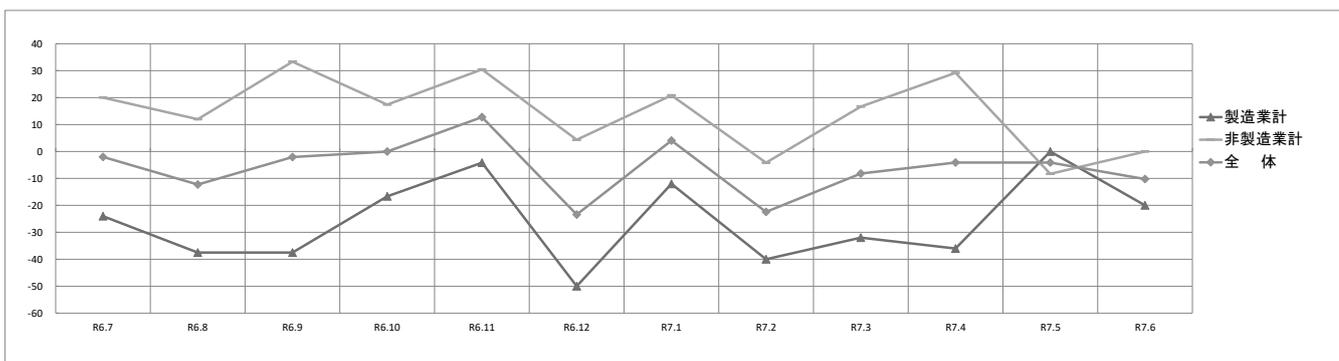
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)																
		増加	不変	減少		業界数	増加	不変		減少	業界数	上昇		不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化		業界数	好転	不変		悪化	業界数	上昇		不変	悪化	業界数	増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数						
製造業	食料品	△ 12.5	2	3	3	8	△ 25.0	0	6	2	8	75.0	6	2	0	8	△ 12.5	0	7	1	8	△ 37.5	1	3	4	8	△ 37.5	0	5	3	8	△ 12.5	1	5	2	8	0.0	0	8	0	8	△ 25.0	1	4	3	8
	繊維工業	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
	木材・木製品	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	△ 50.0	0	2	2	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 50.0	0	2	2	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 50.0	0	2	2	4
	鉄鋼・金属	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	一般機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1
	電気機器	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
	輸送機器	0.0	1	1	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3
製造業計	△ 20.0	4	12	9	25	△ 28.0	0	18	7	25	12.0	6	16	3	25	△ 20.0	0	20	5	25	△ 40.0	1	13	11	25	△ 24.0	0	19	6	25	△ 16.0	1	19	5	25	△ 24.0	0	19	6	25	△ 32.0	1	15	9	25	
非製造業	卸売業	0.0	1	1	1	3	0.0	0	3	0	3	66.7	2	1	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3					0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	
	小売業 (商店街含む)	△ 9.1	2	6	3	11	0.0	0	11	0	11	9.1	3	6	2	11	0.0	1	9	1	11	△ 9.1	1	8	2	11	△ 9.1	0	10	1	11					△ 9.1	0	10	1	11	△ 9.1	1	8	2	11	
	サービス業	66.7	2	1	0	3					66.7	2	1	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3					△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3		
	建設業	0.0	0	5	0	5					0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5					0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5		
	運輸業	△ 50.0	0	1	1	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2					△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2		
	非製造業計	0.0	5	14	5	24	0.0	0	14	0	14	25.0	8	14	2	24	△ 4.2	1	21	2	24	△ 25.0	1	16	7	24	△ 12.5	0	21	3	24					△ 16.7	0	20	4	24	△ 25.0	1	15	7	24	
全体	△ 10.2	9	26	14	49	△ 17.9	0	32	7	39	18.4	14	30	5	49	△ 12.2	1	41	7	49	△ 32.7	2	29	18	49	△ 18.4	0	40	9	49	△ 16.0	1	19	5	25	△ 20.4	0	39	10	49	△ 28.6	2	30	16	49	

D I 値推移表 (R6.7月 ~ R7.6月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	R7.4	R7.5	R7.6
食品品製造業	▲ 57.1	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 28.6	14.3	▲ 42.9	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 12.5	▲ 12.5
製造業(食品品製造業以外)	▲ 11.1	▲ 41.2	▲ 35.3	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 17.6	▲ 47.1	▲ 35.3	▲ 35.2	5.8	▲ 23.5
製造業計	▲ 24.0	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 50.0	▲ 12.0	▲ 40.0	▲ 32.0	▲ 36.0	0.0	▲ 20.0
卸売業	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0
小売業(商店街含む)	30.8	7.7	50.0	27.3	54.5	9.1	45.5	9.1	9.1	54.5	▲ 27.3	▲ 9.1
サービス業	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	33.3	33.3	66.7	100.0	66.7	66.7
建設業	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	▲ 40.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	0.0	0.0	▲ 50.0
非製造業計	20.0	12.0	33.3	17.4	30.4	4.3	20.8	▲ 4.2	16.7	29.2	▲ 8.3	0.0
全体	▲ 2.0	▲ 12.2	▲ 2.1	0.0	12.8	▲ 23.4	4.1	▲ 22.4	▲ 8.2	▲ 4.1	▲ 4.1	▲ 10.2

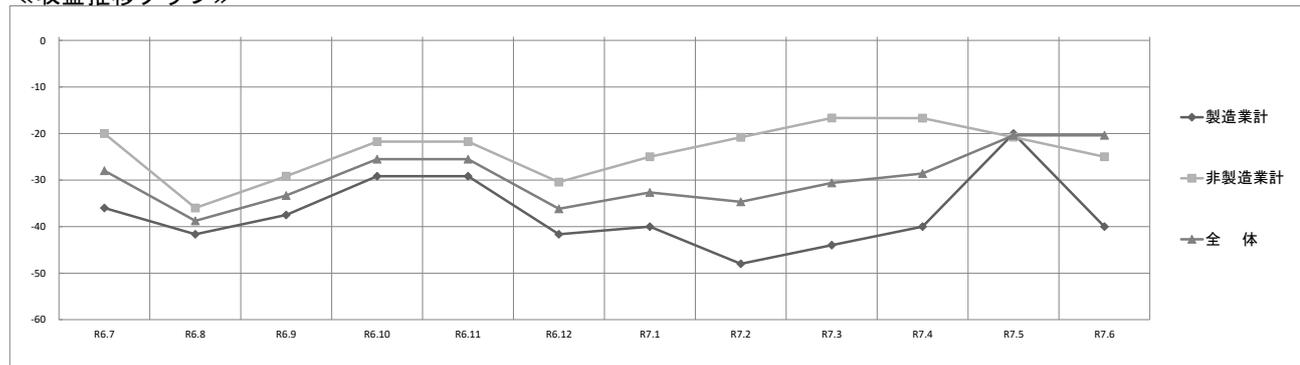
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	R7.4	R7.5	R7.6
食品品製造業	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 14.3	▲ 42.9	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 37.5
製造業(食品品製造業以外)	▲ 33.3	▲ 41.2	▲ 41.2	▲ 29.4	▲ 35.3	▲ 41.2	▲ 41.2	▲ 47.1	▲ 47.1	▲ 29.4	▲ 11.7	▲ 41.1
製造業計	▲ 36.0	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 44.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 40.0
卸売業	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 23.1	▲ 46.2	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 9.1
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 20.0	▲ 36.0	▲ 29.2	▲ 21.7	▲ 21.7	▲ 30.4	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 25.0
全体	▲ 28.0	▲ 38.8	▲ 33.3	▲ 25.5	▲ 25.5	▲ 36.2	▲ 32.7	▲ 34.7	▲ 30.6	▲ 28.6	▲ 20.4	▲ 20.4

《収益推移グラフ》

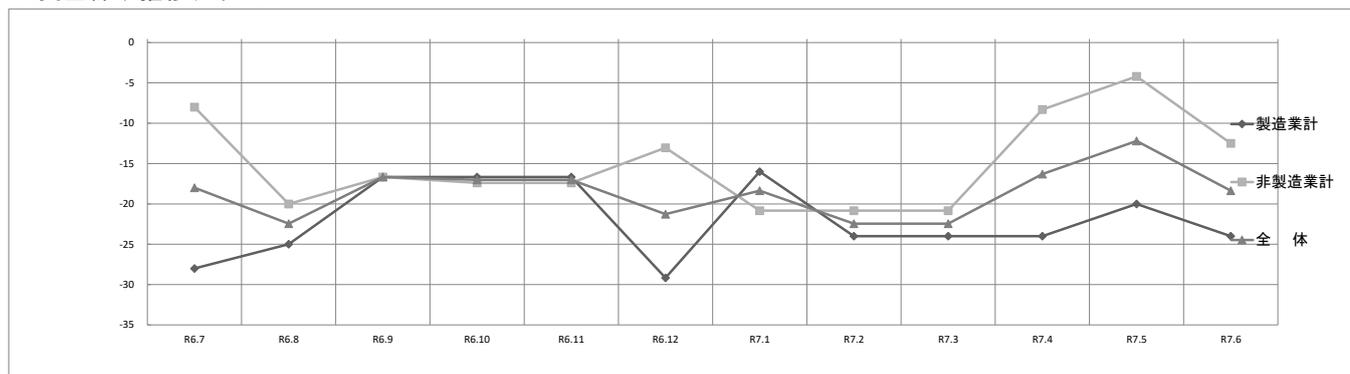


D I 値推移表 (R6.7月 ~ R7.6月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	R7.4	R7.5	R7.6
食料品製造業	▲ 57.1	▲ 57.1	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 37.5
製造業(食料品製造業以外)	▲ 16.7	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 5.9	▲ 11.8	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 17.6	▲ 17.6	▲ 11.7	▲ 11.7	▲ 17.6
製造業計	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 29.2	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 24.0
卸売業	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 7.7	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 9.1	0.0	▲ 9.1
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 8.0	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 17.4	▲ 17.4	▲ 13.0	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 4.2	▲ 12.5
全体	▲ 18.0	▲ 22.4	▲ 16.7	▲ 17.0	▲ 17.0	▲ 21.3	▲ 18.4	▲ 22.4	▲ 22.4	▲ 16.3	▲ 12.2	▲ 18.4

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	R7.4	R7.5	R7.6
食料品製造業	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 25.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 33.3	▲ 29.4	▲ 29.4	▲ 17.6	▲ 23.5	▲ 35.3	▲ 29.4	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 29.4	▲ 5.8	▲ 35.2
製造業計	▲ 36.0	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 36.0	▲ 16.0	▲ 32.0
卸売業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 25.0	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1
サービス業	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	33.3	0.0	▲ 33.3
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 21.7	▲ 30.4	▲ 30.4	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 20.4	▲ 25.0
全体	▲ 32.0	▲ 28.6	▲ 27.1	▲ 21.3	▲ 27.7	▲ 31.9	▲ 28.6	▲ 34.7	▲ 34.7	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6

《景況推移グラフ》

